

令和2年度学校自己評価システムシート（県立大宮光陵高等学校）

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に着け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 組織的な教科指導のもとに生徒の自主的な学習姿勢を育て、確かな学力と専門的な能力の向上を図る。 計画的・系統的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。 芸術活動、国際交流事業等を充実させ、豊かな情操、主体性、協調性、創造性を育む。 基本的生活習慣を確立させ、特別活動・部活動などを通して自主的・自律的な精神を養う。 家庭、地域等との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標			年度評価（1月31日現在）				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	（現状）授業アンケートを実施し、授業改善に生かしている。シラバスを生かし計画的・自発的学習を促している。協調学習を含めた授業研究を行っている。自習室を設置し、自主的な学習を促している。（課題）生徒の家庭での学習時間を増やす。協調学習やアクティブラーニング、新指導要領、「大学入学共通テスト」の研究を進める。	指導力を向上し、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> 授業アンケートを実施し、授業改善に生かすよう各教科で検討する。 シラバスの効果的活用により、生徒の計画的・自主的学習を促す。 生徒の家庭での学習習慣を促すような目標や課題等を設定する。 協調学習やアクティブラーニング、新学習指導要領に基づいた新教育課程、大学入学共通テスト、e-Portfolio等について、校外の研修会等も活用し、研究を深め情報を共有する。 自習室の設置を継続し、空調や利用時間等の環境を整備し、利用を呼びかけ、自主学習を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> アンケートでの生徒・保護者の授業への満足度は上昇したか。 ③生徒の毎日の学習習慣は定着したか。家庭学習時間は増えたか。 ④各教科で研究・研修を実施し、教科指導に生かしたか。また、新教育課程の原案を作成したか。 ⑤自習室の利用者は増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> アンケートでの満足度は89%で昨年よりも上昇した。②③臨時休業中の課題を含め、小テストや週末課題など、生徒の学習習慣の定着を図れた。 ④臨時休業中においてGoogleクラスルームなどのICTの活用を促進し、Chrome book・プロジェクターを用いた授業など各教科で教科指導に生かすことができた。 ⑤自習室の利用者は新型コロナウイルスの影響で激減した。 	A	万が一の臨時休校に備えて、引き続きICTを活用した教科指導の研究・研修を続けていく。定期的な教科会を経て、新教育課程・大学共通テストの研究を進めていく。受け身で課題を行うのではなく、生徒自ら学習習慣の必要性を考え、実施できるような指導をしたり、環境づくりをしていく。
2	（現状）3年間を見通した進路指導計画表に基づき進路指導を行っている。スタディーサポートや模試を実施し、学年ごとに進路学習、説明会、講演会 進路面談を実施して進路意識を高めている。芸術科も含め生徒の進路希望に合わせた補講を開講している。（課題）スタディーサポートや模擬試験の検証を継続・実施し進路指導に生かす。各学年の進路学習・行事を見直し、効果的な補講について検討する。保護者へ最新の入試情報を周知・徹底する有益な方法を検討する。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を醸成する。	<ol style="list-style-type: none"> 学年ごとに進路指導計画表を作成する。 3年間継続し実施しているスタディーサポートや模擬試験を有効活用し、進路意識を高めさせ、結果を検証して情報を生徒に提供する。 実力養成のための3年生の進学補講、基礎力向上のための1・2年生の進学補講を充実させ、それぞれ効果的な実施を各教科に呼びかける。 各種進路行事については事前・事後の指導を含めて充実させ、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底し、特に1・2年生の進路意識啓発の取組を強化する。 各学年保護者会、PTA主催の進路カフェ・進路説明会で、より具体的な情報を提供し、保護者の進路に対する興味・関心を高める。 総合的な探求の時間を活用し、小論文指導の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 3年間を見通した進路指導計画表を作成したか。 スタディーサポート・模試の結果や推移を分析・活用できたか。模試の申込数は増加したか。 進学補講に対する生徒の満足度は上昇したか。 ④⑥生徒の進路行事への取組は意欲的で満足度は高いか。1・2年生の進路希望は明確になったか。 ⑤生徒・保護者の進路指導・情報提供に対する満足度は上昇したか。 	進路指導計画表に基づき共通テストを見据えた進路指導を行った。 <ol style="list-style-type: none"> 学年ごとに進路指導計画表を作成した。②スタディーサポート・模試の結果を進路指導にいかした。 ③夏季休業の短縮などの影響で補講の数は減ってしまったが、一定数の講座開講した。 ④⑥生徒にはLHRや総合的な探究の時間を活用し大学共通テストについての説明をした。また2学年において小論文指導を年間を通じて行った。 ⑤生徒の満足度はアンケートの結果、昨年より増加した。保護者会等では感染防止対策のため中止となった。 	B	今年度実施された大学共通テストの分析と研究を進め、次年度の3年生及びその保護者をはじめ、学校全体でその情報を共有できるようにしていく。共通テストへの変更、また新型コロナウイルスへの影響により、以前にもまして一般受験の生徒数は減り、総合型選抜・学校推薦型選抜の希望者が増加している。早期の入試対策ができるように、計画性をもって取り組んでいく。しかし長い目で見てとチャレンジする姿勢も大切であるので、合わせて指導をしていく。今年度できなかった保護者への進路情報の提供をICTを活用するなど、その方法を検討していく必要がある。
3	（現状）芸術科の活動では、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残している。オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、(音楽科ヨーロッパ研修)を成功させ、帰国報告会を実施している。（課題）芸術科や国際教育などホームページ（HP）等のアピールの継続が必要である。国際理解委員会を活性化させるなど生徒が関わる場面をさらに積極的に設ける。	4学科1コースの良さを活かし、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> 「Koryo Arts Link」事業を継続すると共に、活動を広くHPなどでアピールする。 校内外の発表・展覧会等を充実させると共に、その成果を広くHPなどでアピールする。 新型コロナウイルスの影響で各種海外研修が実施できない可能性があるが、実施の際には、オーストラリア姉妹校の来校を全校で迎え、書道科台湾研修、美術科ヨーロッパ研修を成功させ、その成果を全校生徒に報告し共有させる。 生徒の国際理解委員会に、国際交流に関する行事に関わらせる。 上記の活動の中に、生徒の主体性を育むために、全校生徒が関わる場面を積極的に設ける。 	<ol style="list-style-type: none"> HPを随時更新し事業の実施状況や活動の様子をアピールしたか。 校内外の発表・展覧会等の成果が上がり、HPに掲載できたか。 海外研修・芸術科の研修を実施し、全校で成果を共有できたか。 国際理解委員会が国際交流に関する行事に関わったか。 各活動において全校生徒の関わる機会を持たせたか。 	<ol style="list-style-type: none"> 「Koryo Arts Link」事業を継続し、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させた。 ①②今年度も全国レベルの実績を上げたが、総合文化祭がオンラインになるなど活動は制限されてしまった。 ③④⑤海外研修は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。来年度も実施ができるかわからないが、実施の方向で準備を進めている。代わりに外国語コースにてCIRの方を招いての講演会、留学体験プログラムを実施した。 	B	新型コロナウイルスの状況を見据えながら、海外研修が実施できない場合でも、オンラインなどのできる形態や方法を模索し、生徒に有益な体験をさせながら、その芸術活動を広くアピールしていく。海外研修のノウハウや姉妹校とのパイプが切れてしまわないように、国際交流係を中心に、情報の共有を図っていく。
4	（現状）基本的生活習慣を確立させる指導、交通安全指導、マナー向上の指導を年間を通して継続的に実施。学校生活アンケートの実施によりいじめ実態等の把握に努めている。外部機関と連携した相談体制を整えている。（課題）バス乗車のマナーは改善されつつあるが、自転車運転マナーについては、乗り方を含め全校生徒へ注意を促し、さらに交通安全に対する意識を啓発する必要がある。行事等を通して自己肯定感を持たせ、社会性を身につけさせる必要がある。	規範意識の醸成と主体性を育む生徒指導を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導を継続する。 自転車事故防止のための交通安全指導を徹底する。 光陵祭、スポーツ大会、予銭会などの学校行事を生徒に主体的に運営させ、生徒が他者に対する適切な配慮や自己肯定感を持てるような場面を設定するよう工夫する。 部活動（特に運動部）の加入増を図るために部活動見学の機会を設け、活動状況を積極的に外部に発信する。 生徒に関わる情報交換を密にし、問題に対し早期対応できるよう教育相談体制を充実させ、外部機関との連携の強化を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②各指導を実施したか。近隣からの苦情は減少したか。 ③アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。 ④部活動加入率は上昇したか。部活動見学に参加した中学生は増加したか。活動の状況や大会などの結果をHPに更新したか。 ⑤生徒面談を実施したか。アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②各指導を実施し、今年度は近隣からの苦情は減少した。 ③学校行事の減少により、アンケートにおいて生徒の満足度は下がってしまった。昨年度に引き続き生徒主体のルール革命委員会を実施し新聞にも取り上げられ、生徒の自己肯定感につなげることができた。 ④何もしない自粛期間の影響か、部活動加入率はやや増加した。 ⑤校内の情報交換を密にし、外部機関とも連携して適切に対応した。教育相談研修会を実施しスクールソーシャルワーカーについて理解を深めた。 	A	安心で安全な学校生活のため生徒が主体的に取り組む機会を重視し、自己肯定感を得られる指導を継続する。また行事が減ってしまう中で、生徒の活動の機会をどのように確保していくのかも検討が必要である。講演会・遅刻指導・清掃指導・整容指導等を通して、社会人としての常識やマナーを身に付けさせる。交通安全については無事故を目指す指導を行う。支援を要する生徒や保護者を早期に支援できるよう、外部組織についての情報を、担任を始め学校全体で理解する必要がある。
5	（現状）保護者の学校に対する満足度は高い。交流事業も関係者から好評を得ている。メール配信システムを活用し、保護者に情報を配信している。地域の小学校や中学校と交流する事業を実施している。（課題）ホームページがより魅力的になるように工夫する。古いデータの精査を行う。部活動等のページも積極的に更新を行い、本校の魅力を引き続きアピールする。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	<ol style="list-style-type: none"> HPの更新を頻繁に行い、部活動の実績や学校行事についても、その内容をわかりやすく伝え、本校の魅力を積極的にアピールする。 メール配信システムを様々な場面に活用し、保護者に適切な情報提供を行う。 光陵祭、授業公開、公開講座等、外部に向けて行事の宣伝を積極的に行い、保護者や地域の人々、中学生などの来校を促す。 地域との交流事業を積極的に行い、地域との連携を深める。 学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など生徒募集活動を積極的に行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②HPへのアクセス数は増加したか。メールを適切に配信したか。生徒・保護者の学校に対する満足度は上昇したか。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の参加者数は増加したか。関係者の評価は高かったか。 ④地域との交流事業を実施し、関係者の好評を得られたか。 ⑤各説明会を実施したか。参加人数は増加したか。本校の志願者数は増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②行事だけでなく、学科・部活動をはじめ多くの更新を行い、アクセス数は伸びた。休業中の課題の配布をホームページで行い、その連絡や始業時間の変更、行事予定の変更など一斉メールを適切に利用できた。 ③④校内行事・校外行事ともにほとんどのものが中止となった。 ⑤感染防止対策をしながらか説明会を実施することができた。 	B	HPや一斉メールを活用し、必要な情報を生徒保護者をはじめ、外部に発信できるようにし、生徒募集にもつなげていくオンライン会議（Google Meet、zoomなど）の活用をして、授業の動画の制限公開や、小学校との交流事業など、今年度実施できなかった行事の実施ができるよう検討し、実施していく必要がある。

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。
今年度は感染防止対策として懇話会は中止。代わりにシステムシート、各分掌・学年・教科の総括シート、学校自己評価アンケートの結果を送付し回答をいただいた。

学校関係者評価
実施日 令和3年2月26日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>教科ごとに、ICTを活用した学習支援を行っているようです。5月の臨時休業中には間に合わず、生徒のアンケートの結果はよくないものでしたが、来年度に向けても今年度の改善点を是非改善できるようにして、様々な取り組みを実施してほしいと思います。また、その結果生徒・保護者の満足度をさらに上げられることを期待したいと思います。</p> <p>大学入試の多様化により、より生徒一人一人にあった進路指導が必要になってきています。是非情報の共有化を図ってほしいと思います。保護者に対して、情報不足を懸念し、気を配った姿勢が見られました。小・中学校のキャリア教育との連携や総合的な探求の時間の活用などを通して、1年生の早い段階からそれぞれの進路を考えさせる時間をつくるとともに、生徒が何を思っているのか話しやすい環境づくりも併せてお願いしたいと思います。その結果が、3年生の進路意識は主体的なものになってきたところは評価できます。</p> <p>なかなか例年通りの実施は難しいところですが、生徒の安全を考えると仕方がない判断だったかと思えます。その中で、先生方が工夫をこらし、芸術科の生徒に有益な体験をさせていただいているようです。今後も芸術に打ち込む生徒のために、このような機会を多く持ってもらえればと思います。また、普通科の生徒も芸術に触れていける環境を引き続き継続していただくようお願いします。制限のある中でしたが、虹陵祭の実施ができたことは、生徒の主体性や協調性、創造性を伸ばすきっかけとなり、よかったですと思います。</p> <p>バス停での待機もきちんと1列に並んでおり、マナーは良好であると思います。また、交通ルールも守っている生徒が多く、身だしなみもきちんとしていて好印象です。生徒主体のルール革命委員会においても、新たな取り組みを実施し、生徒が主体的に取り組む活動が増えたことはよいことだと思います。一方で、自主的に動けない生徒も多いようなので、動けない生徒に対しての声かけも工夫をしてください。また精神的理由による長欠や不登校の生徒に対して、きめ細かい指導をお願いしたいと思います。</p> <p>生徒が学校で配布される広報誌等を家庭で渡してくれないと、保護者が学校の様子を知る機会が減ってしまいます。是非学校ホームページを活用していただき、多くの情報を発信してほしいと思います。学校外周の草刈りを実施している生徒がおり、環境美化の促進の面からも、地域との連携の面からみてもよいことだと思うので、今後も継続して行ってください。また今後も書道科をはじめ、中学生が参加できる機会の確保をお願いします。</p>